

教育研究上の目的

児童教育学科は、子どもを深く理解し、多様な人と協働するとともに、生涯にわたって学び続ける基本姿勢をもった人材の育成を目指し、大学と地域の学校等での実体験を通じた往還的な学びに基づいて、豊かな人間性と教職への強い使命感をもち、学校教育が抱える現代的な諸課題に対応できる実践力を身につけた教員を養成することを教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

児童教育学科では、教育研究上の目的を達成するために、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 自律的に学ぶ姿勢や、時代の変化やキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていく態度を身につけている。
2. 学校教育の今日的な諸課題の解決に向けて、多様な人と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に取組む能力を身につけている。
3. 小学校教育を基本に特別支援教育・幼児教育・英語教育等への学びを究め、幼小及び小中の円滑な接続等に関する知識と技能を身につけ、これからの時代の教育を創造している。

そのうえで、次の資質及び能力を有している者に「学士（教育学）」の学位を授与する。

①知識・技能

1. 自ら主体的に教材研究を行うとともに、学習指導要領の内容を理解し、各教科等の指導の展開に応じた、教材・教具、指導方法を工夫するための基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 子どもの特性や心身の状況を把握したうえで学級経営案を作成し、具体的な教育活動を組み立てるための基礎的な知識・技能を身につけている。
3. 学校教育の今日的な諸課題を解決するために、情報を収集し、課題発見するための基礎的な知識・技能を身につけている。

②思考力・判断力・表現力

1. 子どもの声を真摯に受け止めたり、保護者や地域の意見・要望に耳を傾けたりするとともに、学校が組織として連携・協力しながら課題に対応していることについて考え、表現する力を身につけている。
2. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、課題に対処するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。
3. 組織の一員として協調性や柔軟性をもって校務の運営に参加し、自らの役割・職務を遂行するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。

③主体性・多様性・協働性

1. 自己の課題に気づき、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
2. 気軽に子どもに声をかけたり、顔を合わせたり、相談に乗ったりする中で、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を持っている。
3. 教員の使命や職務について理解し、自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

児童教育学科では、教員として必要な資質や能力を養うために、講義・演習・実技・学校インターンシップ・教育実習等を通して、教育学や教育理論と教育実践との往還的な学習を深めるようカリキュラムを編成することを基本とし、各領域では以下の力を育成することを目指す。

1. 「初等教育教員養成分野」領域では、小学校教員の基盤となる各教科等の知識・技能を身につけ、確かな指導方法を理解する力を育成する。
2. 「特別支援教育分野」領域では、インクルーシブ教育の実現に向けた確かな知識・技能を身につけ、特別支援教育についての高い専門性を有する力を育成する。
3. 「学校実地研究分野」領域では、理論と実践の往還を重視した実践的指導力を育成する。
4. 「学校教員実力養成分野」領域では、多様な表現活動や演習を通して組織の一員としての協調性や柔軟性を身につけ、他者とのコミュニケーションできる力を育成する。
5. 「幼稚園教員養成分野」領域では、幼稚園教員として確かな知識・技能を身につけ、幼稚園、小学校との接続・連携を推進できる力を育成する。
6. 「中等教育教員養成（外国語）分野」領域では、英語教育を推進できる中学校・高等学校教員として確かな知識・技能を身につけ、小学校との接続・連携を推進できる力を育成する。
7. 「演習」領域では、自己の課題に向けて研究を深め、探究心や学び続ける力を育成する。

そのための教育課程の編成方針は以下のとおりである。

初等教育教員養成分野

1. 小学校各教科・領域等の学習指導要領の内容を理解し、教材研究を行うとともに、基本的な学習指導案を作成し、教材・教具、指導方法の工夫をすることができる。
2. 子どもの状況に応じた基本的な学級経営案を作成し、具体的な教育活動を組み立てることができる。
3. 小学校教育の今日的な諸課題を知り、その解決のための基礎的な知識・技能を身につけている。
4. 子どもの声を真摯に受け止め、保護者や地域の意見等を尊重し、学校組織の一員としてさまざまな課題にどう対応していくか考え、主体的に提案することができる。
5. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、自身の考えを積極的に発信し、課題解決のためのよりよい方法を創出することができる。
6. 学校組織の一員として校務の運営について理解し、自らの役割・職務に即して、協調性・柔軟性をもって取り組むことができる。
7. 自己の課題に気づき、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
8. 積極的に子どもに関わり、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を持つことができる。
9. 教員の使命や職務について理解し、自発的・積極的に自己の責任を果たそうとする姿勢を持っている。

特別支援教育分野

1. 自ら主体的に教材研究を行うとともに、学習指導要領の内容を理解し、各教科等の指導の展開に応じた、教材・教具、指導方法を工夫するための基礎的な知識・技能を習得している。
2. 子どもの障害特性や心身の発達段階の状況を把握したうえで学級経営案を作成し、具体的な教育活動を組み立てるための基礎的な知識・技能を習得している。
3. 特別支援教育の今日的な諸課題を解決するために、情報を収集し、課題発見するための基礎的な知識・技能を習得している。
4. 子どもの行動や声を真摯に受け止めたり、保護者や地域の意見・要望に耳を傾けたりするとともに、学校が組織的に対応し、関係機関と連携・協力しながら課題に対応していることについて考え、表現する力を身につけている。

5. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、課題に対処するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。
6. 組織の一員として協調性や柔軟性をもって校務の運営に参加し、自らの役割・職務を遂行するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。
7. 自己の課題に気づき、その解決に向けて、自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
8. 子どもの行動を的確に捉え、理解する中で、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を持っている。
9. 教員の使命や職務について理解し、自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

学校実地研究分野

1. 児童の実態や各教科等の指導の展開に応じた、教材・教具、指導方法を工夫するための基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 子どもの特性や心身の状況を把握したうえで学級経営案を作成し、実践することができる。
3. 学校教育の今日的な諸課題を知り、その解決のための基礎的な知識・技能を身につけている。
4. 子どもの声を真摯に受け止め、学校組織の一員としてさまざまな課題にどう対応していくか考え、主体的に提案することができる。
5. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、自身の考えを積極的に発信し、課題解決のためのよりよい方法を創出することができる。
6. 組織の一員として協調性や柔軟性をもって校務の運営に参加し、自らの役割・職務を遂行するために必要なことを考え、表現する力を身につけている。
7. 自己の課題に気づき、その解決に向けて自己研鑽に励み、自らの指導力等を高めようとする姿勢を持っている。
8. 子どもに声をかけたり、相談に乗ったりする中で、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を持っている。
9. 教員の使命や職務について理解し、自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

学校教員実力養成分野

1. 各教科又は学科横断的な指導の展開に応じた、教材・教具、指導方法を工夫するための基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 子どもの特性や発達を理解したうえで学級経営案を作成し、一人一人の児童の個性を尊重した教育活動を組み立てるための基礎的な知識・技能を身につけている。
3. 科目等の特性に応じた課題を発見し、情報を収集しながら課題を解決するための基礎的な知識・技能を身につけている。
4. 多様な表現活動や演習を通して、教員として必要となる表現力や具体的な指導法を身につけている。
5. 他者と協力して課題解決の方法を探索する力を身につけている。
6. 子どもの学習環境をより良くするための方法や、児童同士の学び合いが活性化するための工夫を考え、実践することができる。
7. 自己の課題に気づき、その解決に向けて自己研鑽に励み、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
8. 他者と協働して一つのものをつくり上げたり、学習を深めたりすることができる。
9. 学校教育に関する今日的な課題について学びを深め、地域連携や学校種連携の視点をもって自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

幼稚園教員養成分野

1. 幼稚園教育要領の内容を理解し、幼稚園教育関連の基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 幼児の特性や心身の状況を把握している。
3. 幼稚園教育の今日的な諸課題を解決するための情報を収集することができる。

4. 幼稚園が組織として連携・協力しながら課題に対応していることに気づくことができる。
5. 他者の意見やアドバイスに積極的に耳を傾けることができる。
6. 生徒や保護者、地域の声に耳を傾けつつ、学校が組織として連携・協力しながら外国語教育に関する学習指導・生徒指導を展開するために必要な原理・原則について考え、表現する力を身につけている。
7. 自己の課題に気づき、常に学び続けようとしている。
8. 進んで幼児に声をかけたり、顔を合わせたり、相談に乗ったりすることができる。
9. 幼稚園教員の使命や職務について理解することができる。

中等教育教員養成（外国語）分野

1. 自ら主体的に教科専門の理解にもとづき教材研究を行い、学習指導要領を踏まえた外国語教育指導の展開に応じた、教材・教具（ICTの活用を含む）、指導法を工夫するための基礎的な知識・技能を身につけている。
2. 生徒の特性や心身の状況を把握したうえで、外国語教育に関する教科経営案を作成し、具体的な学習指導・生徒指導を組み立てるための基礎的な知識・技能を身につけている。
3. 外国語教育に関する今日的な課題を解決するために、情報を収集し、課題発見するための基礎的な知識・技能を身につけている。
4. 生徒や保護者、地域の声に耳を傾けつつ、学校が組織として連携・協力しながら外国語教育に関する学習指導・生徒指導を展開するために必要な原理・原則について考え、表現する力を身につけている。
5. 他者の意見やアドバイスに耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、外国語教育に関する学習指導・生徒指導を展開するために必要な原理や原則について考え、表現する力を身につけている。
6. 組織の一員として協調性や柔軟性を持って外国語教育の教科経営に参画し、外国語教育の教員として自らの役割・職務を遂行するために必要な課題を発見し、追究し、表現する力を身につけている。
7. 外国語教育に関する自己の課題に気づき、その解決に向けて自己研鑽に励むなど、常に学び続けようとする姿勢を持っている。
8. 気軽に生徒に声をかけたり、顔を合わせたり、相談に乗ったりする中で、外国語教育の教員として生徒から学び、ともに成長しようとする姿勢を持っている。
9. 外国語教育に関する教員としての使命や職務について理解し、外国語教育に関する課題の解決に向けて自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

演習

1. 自ら選択した教育に関する今日的な課題について知識を深め、研究方法を的確に選択して、自分の考えを記述することができる。
2. 先達の研究成果や他者の考えに触れることで、自ら選択した教育に関する今日的な課題を解決するための知識・技能を身につけている。
3. 自己の研究課題を設定するための資料を収集して、その中から課題を発見し、教育環境がより良くなるための提案等を記述することができる。
4. 自ら選択した教育に関する今日的な課題について事例を研究したり、様々な意見を比較検討したりすることにより、自分の考えを形成し、表現することができる。
5. 仲間との協働学修を通して自己の学修課題を省察するだけでなく、他者への建設的な助言ができる。
6. 自ら選択した教育に関する今日的な課題について背景を分析し、課題を解決するために必要な手段等を考え、表現する力を身につけている。
7. 教育学や教育倫理に関する学修を深め、自己の学習課題に沿って研究を進めることができる。
8. 教育に関する今日的な課題を解決するために他者と協働して課題解決に当たろうとする姿勢を持っている。
9. 教育に関する今日的な課題を解決するために自発的・積極的に自己の責任を果たし、実行しようとする姿勢を持っている。

カリキュラムマップでは、各学科の学生が、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性などがわかるようになっています。

カリキュラムの授業科目間のつながりや年次進行などがわかりますので、履修上の参考にしてください。

児童教育学科 カリキュラムマップ

→ 必修科目

領域	学生が身につけるべき資質・能力	1年次	2年次	3年次	4年次
初等教育教員養成分野	小学校教員養成の基盤となる各教科・領域、その指導法について、 ・教科用図書の内容を十分理解し、わかりやすく学習内容や学習活動を組み立てるとともに、子どもの質問に的確にこたえることができる ・板書や発問、的確な話し方など基本的な指導技術を身に着けるとともに、子どもの反応を生かしながら、集中力を保ち、関心・意欲を喚起する授業を行うことができる ・自ら主体的に教材研究を行うとともに、それを生かした学習指導案を作成することができる ・誠実、公平かつ責任感をもって子どもに接し、子どもから学び、共に成長しようとする意識をもって指導にあたること ・他者の意見やアドバイスを耳を傾けるとともに、理解や協力を得ながら、自らの役割・職務を遂行すること ・教員の使命や職務についての基本的な理解に基づき、自発的・積極的に自己の職責を果たそうとする姿勢をもつことができる	国語 算数 社会 生活 理科 図画工作	音楽 体育 家庭 外国語（英語） 初等国語科教育 初等算数科教育 初等理科教育 初等図画工作科教育 初等社会科教育 初等生活科教育 教材研究A 教材研究B	初等体育科教育 初等音楽科教育 初等家庭科教育 初等英語科教育 授業研究A 授業研究B	
		教育学概論A 教職入門A 学校制度論A 教育心理学A 特別な教育的ニーズの理解と支援A 教育課程論A	特別活動A 教育方法A（ICT活用を含む） 生徒指導・進路指導A 幼児理解の理論と方法	道徳教育A 総合的な学習の時間の授業づくりA 教育相談A	
特別支援教育分野	・特別支援教育についての高い専門性を有する小学校教員又は特別支援学校教員としての知識、問題解決能力を身に着けることができる ・今日の課題である「インクルーシブ教育の実現」に向けた知識・技術、実践的指導力を身につけることができる	特別支援学校教育概論 病弱の心理・生理・病理 知的障害の心理・生理・病理 肢体不自由の心理・生理・病理	知的障害教育概論 肢体不自由教育概論 病弱教育概論 特別支援教育指導法 知的障害教育課程論	視覚障害教育概論 聴覚障害教育概論 重複障害教育概論 肢体不自由教育課程論 病弱教育課程論	
学校実地研究分野	・学んだことを実際の教育現場において、実践することで、自らの課題を発見し、解決する能力を身につけることができる			教育実習事前事後指導（介護等体験含む） 幼稚園教育実習（事前事後指導含む） 教育実習	教職実践演習（幼・小・中・高） 特別支援学校教育実習（事前事後指導含む） 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教育実習Ⅲ
学校教員実力提升分野	・多様な表現活動や演習を通じて、学校運営、学級運営、効果的な指導法や学習指導案を作成することができる ・組織の一員として協調性や柔軟性をもって校務にあたることができる	表現活動（基礎） 表現活動（応用） 教職基礎演習 ピアノ奏法演習 書写・文章表現演習（基礎）	教職発展演習 学習指導と学校図書館 書写・文章表現演習（応用）	教育体験活動 理科実験観察 ICTとプログラミング教育 学級経営と道徳教育 外国語活動 教育行政概論	教職応用演習

幼稚園教員養成分野	・幼稚園と小学校の連携・接続を推進できる小学校教員又は幼稚園教員としての知識、問題解決能力を身につけることができる ・今日の課題である「幼児教育と小学校教育との円滑な接続」に向けた知識・技術、実践的指導力を身につけることができる	幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現 保育内容総論 保育内容の指導法（環境） 保育内容の指導法（人間関係） 保育内容の指導法（言葉） 保育内容の指導法（健康） 保育内容の指導法（表現）	
中学校教育教員養成（外国語）分野	・小学校と中学校の連携を図った英語教育を推進できる中学校(高等学校)教員としての知識、問題解決能力を身につけることができる ・今日の課題である「グローバル化に対応した教育環境の整備」に向けた知識・技術、実践的指導力を身につけることができる	英語Ⅲ 英語Ⅳ アドバンスト・リスニング応用 アドバンスト・リーディング応用 アドバンスト・ライティング応用 中級ビジネス英語 中級映画・ドラマ英語 中級メディア英語 Oral English a Oral English b 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ ことばのしくみ 英語学 英語音声学Ⅰ（子音と母音） 英語音声学Ⅱ（発話実践） 英米文学の流れ 英米小説と女性 異文化コミュニケーション 比較文化論	英語Ⅲ 英語Ⅳ 英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ
演習	・教育学や教育理論に関する学修を深め、自己の学修課題に沿って、研究を深めることができる、かつ学び続けることができる ・仲間との共同学修を通して、自己の学修課題を省察したり、他者へ建設的なアドバイスができる ・自己の研究課題を設定するための資料を収集し、自己研究課題が設定できるようになる		卒業研究ゼミナール 卒業研究
DP	児童教育学科では、教育研究上の目的を達成するために、次の学生像を人材育成の方針とする。 1. 自律的に学ぶ姿勢や、時代の変化やキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていく態度を身につけている。 2. 学校教育の今日的な諸課題の解決に向けて、多様な人と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に取り組む能力を身につけている。 3. 小学校教育を基本に特別支援教育・幼児教育・英語教育等への学びを究め、幼小及び小中の円滑な接続等に関する知識と技能を身につけ、これからの時代の教育を創造している。		
CP	児童教育学科では、教員として必要な資質や能力を養うために、講義・演習・実技・学校インターンシップ・教育実習等を通して、教育学や教育理論と教育実践との往還的な学習を深めるようカリキュラムを編成する。		

教育人文学部 児童教育学科 (EB)

専門科目教育課程 2025年度生

科 目 群		卒業に必要な単位数	
共 通 科 目		22単位以上	
学科専門科目	必 修	59単位	90単位以上
	選 択	31単位以上	
自由選択科目		12単位以上	
計		124単位以上	

- 共通科目から、必修科目9単位、選択必修科目6単位を含めた22単位以上を履修
- 専門科目から、必修科目59単位（卒業研究を含む）を含めた90単位以上を履修
- 自由選択科目は、12単位以上を履修
- 合計124単位以上を履修

What's "自由選択科目"!??

- a. 共通科目22単位を超えた分が自由選択科目の単位となる。
例) 共通科目28単位取得した場合は、6単位分が自由選択科目の単位となる。
- b. 自学科の専門選択科目31単位を超えた分が自由選択科目の単位となる。
例) 自学科の専門選択科目40単位取得した場合は、9単位分が自由選択科目の単位となる
- c. 他学科の他学科開放科目を修得すると自由選択科目の単位となる。
- a～cを組み合わせると（又は単独で）12単位以上を履修

科目区分	授業科目	単位数		授業形態	履修期	配当年次	他学科開放	備考	身につく力 (◎…重要な目的としている ○…主な目的としている)											
		必修	選択						基礎学力の定着を図る指導法の工夫	子どもの反応を受け止めた的確対応	主体的・継続的に学習する姿勢	子どもの特性を理解した学習指導	子どもの特性を理	保護者や地域との連携・課題解決	共に成長する姿勢	子どもの学び、	自己の課題解決に向けた的確情報収集・的確	役割・職務遂行	他者との協働、	社会人としての自己の職責を果たす姿勢
初等教育教員養成分野	国語	2		講義	前	1年	○		◎		○	○					○			
	社会	2		講義	後	1年	○		◎		○	○					○			
	算数	2		講義	後	1年	○		◎		○	○					○			
	理科	2		講義	後	1年	○		◎		○	○					○			
	生活		2	講義	前	1年	○		◎		○	○					○			
	音楽		2	講義	後	2年	×		◎		○	○					○			
	図画工作		2	講義	後	1年	×		◎		○	○					○			
	家庭		2	講義	前	2年	×		◎		○	○					○			
	体育	2		講義	後	2年	×		◎		○	○					○			
	外国語（英語）		2	講義	後	2年	×		◎		○	○		○	○					○
	初等国語科教育	2		講義	前	2年	×		◎		○	○		◎	○		◎			○
	初等算数科教育	2		講義	後	2年	×		○	◎	○	◎		○	○		◎			○
	初等理科教育	2		講義	後	2年	×		○	◎	○	◎		◎	○		◎			◎
	初等体育科教育	2		講義	前	3年	×		○	◎	○	◎		◎	○		◎			○
	初等音楽科教育	2		講義	後	3年	×		◎	○	○	◎		◎	○		◎			○
	初等図画工作科教育	2		講義	後	2年	×		◎	○	○	◎		◎	○		◎			○
	初等社会科教育	2		講義	前	2年	×		◎	○	○	◎		◎	○		◎			◎
	初等生活科教育	2		講義	前	2年	×		○	◎	○	◎		◎	○		◎			◎
	初等家庭科教育	2		講義	前	3年	×		◎	○	○	◎		◎	○		◎			○
	初等英語科教育	2		講義	前	3年	×		◎	○	○	◎		◎	○		◎			◎
	教材研究A		1	演習	前	2年	×		◎	○	○	◎		◎	○		◎			◎
	教材研究B		1	演習	後	2年	×		◎	○	○	◎		◎	○		◎			◎
	授業研究A		1	演習	前	3年	×		○	○	◎	○		◎	○		◎			○
	授業研究B		1	演習	後	3年	×		○	○	◎	○		◎	○		◎			○
特別支援教育に関する科目	教育学概論A	2		講義	前	1年	○							○	○		◎			○
	教職入門A	2		講義	前	1年	○		○			○					◎			○
	学校制度論A	2		講義	前	1年	○			◎				◎			○			◎
	教育心理学A	2		講義	後	1年	○					◎						◎		
	特別な教育的ニーズの理解と支援A	2		講義	前	1年	○			◎		◎		○			○			
	教育課程論A	2		講義	後	1年	○		◎	○						○	○			○
	道徳教育A	2		講義	前	3年	×		○		○				◎					
	総合的な学習の時間の授業づくりA		2	講義	後	3年	×		○	◎		○		○		◎	◎			
	特別活動A	2		講義	後	2年	×			○		◎		○		○	○			
	教育方法A (ICT活用を含む)	2		講義	前	2年	×		◎	○	○					○	○			○
	生徒指導・進路指導A	2		講義	前	2年	×			○		◎		○		○	○			◎
	教育相談A	2		講義	後	3年	×		◎	○		◎			○		○			○
特別支援教育ハカ野	幼児理解の理論と方法		2	講義	後	2年	×			◎	○	◎		○			○			
	特別支援学校教育概論		2	講義	前	1年	○		◎	○		◎		○			○			
	知的障害教育概論		2	講義	前	2年	○		○	◎		◎		○			○			
	肢体不自由教育概論		2	講義	前	2年	○		○	◎		◎		○			○			
	病弱教育概論		2	講義	後	2年	○		○	◎		◎		○			○			
	視覚障害教育概論		2	講義	後	3年	○		○	◎		◎		○			○			
	聴覚障害教育概論		2	講義	後	3年	○		○	◎		◎		○			○			
	重複障害教育概論		2	講義	後	3年	○		○	◎		◎		○			○			
	特別支援教育指導法	1		演習	前	2年	○		○	◎		◎		○			○			
	知的障害教育課程論		2	講義	後	2年	○			◎	○	○		◎			◎			○

科目区分	授業科目	単位数		授業形態	履修期	配当年次	他学科開放	備考	身につく力 (○…重要な目的としている ○…主な目的としている)									
		必修	選択						基礎学力の定着を図る指導法の工夫	基礎学力の定着を図る指導法の工夫	基礎学力の定着を図る指導法の工夫	基礎学力の定着を図る指導法の工夫	基礎学力の定着を図る指導法の工夫	基礎学力の定着を図る指導法の工夫	基礎学力の定着を図る指導法の工夫	基礎学力の定着を図る指導法の工夫	基礎学力の定着を図る指導法の工夫	基礎学力の定着を図る指導法の工夫
特別支援教育 に関する科目	肢体不自由教育課程論	★2		講義	前	3年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病弱教育課程論	★2		講義	前	3年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	知的障害の心理・生理・病理	★2		講義	後	1年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	肢体不自由の心理・生理・病理	★2		講義	前	1年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病弱の心理・生理・病理	★2		講義	前	1年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校実地研究分野	教育実習事前事後指導	■2		演習	通	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育実習	■4		実習	後	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教職実践演習(幼・小・中・高)	■2		演習	後	4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	幼稚園教育実習(事前事後指導含む)	●2		実習	前・後	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別支援学校教育実習(事前事後指導含む)	★3		実習	通	4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学校教員実力養成分野	教育実習Ⅰ	◆1		演習	通	4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育実習Ⅱ	2		実習	通	4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育実習Ⅲ	◆2		実習	通	4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育体験活動	■1		実習	通	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	表現活動(基礎)	2		演習	前	1年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
幼稚園教員養成分野	表現活動(応用)	2		演習	後	1年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教職基礎演習	1		演習	後	1年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教職発展演習	2		演習	通	2年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教職応用演習	1		演習	前	4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学習指導と学校図書館	2		講義	前	2年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	学級経営と道徳教育	2		講義	後	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	外国語活動	2		講義	後	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	書写・文章表現演習(基礎)	1		演習	後	1年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	書写・文章表現演習(応用)	1		演習	後	2年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	理科実験観察	1		実験	前	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育行政概論	2		講義	後	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ICTとプログラミング教育	2		演習	前	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ピアノ奏法演習	1		演習	前・後	1年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	幼児と健康	●2		講義	前	1・2年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	幼児と人間関係	●2		講義	前	1・2年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	幼児と環境	●2		講義	前	1・2年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中等教育教員養成(外国語)分野	幼児と言葉	●2		講義	後	1・2年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	幼児と表現	●2		講義	後	1・2年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	保育内容総論	●2		演習	後	1年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	保育内容の指導法(環境)	●2		演習	前	2・3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	保育内容の指導法(人間関係)	●2		演習	前	2・3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	保育内容の指導法(言葉)	●2		演習	前	2・3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	保育内容の指導法(健康)	●2		演習	後	2・3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	保育内容の指導法(表現)	●2		演習	前	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語Ⅲ	◆2		演習	前	2・3・4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語Ⅳ	◆2		演習	後	2・3・4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アドバンスト・リスニング応用	◆2		講義	前・後	1・2・3・4年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アドバンスト・リーディング応用	◆2		講義	前・後	1・2・3・4年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アドバンスト・ライティング応用	◆2		講義	前・後	1・2・3・4年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中級ビジネス英語	2		講義	後	2・3・4年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中級映画・ドラマ英語	2		講義	前・後	2・3・4年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中級メディア英語	2		講義	前	2・3・4年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
演習	Oral English a	◆1		演習	前	2・3・4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	Oral English b	◆1		演習	後	2・3・4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語科教育法Ⅰ	◆2		講義	前	2年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語科教育法Ⅱ	◆2		講義	後	2年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語科教育法Ⅲ	2		講義	前	3年	×	中免のみ必修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語科教育法Ⅳ	2		講義	後	3年	×	中免のみ必修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ことばのしくみ	◆2		講義	前	1・2・3年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語学	◆2		講義	後	1・2・3年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語音声学Ⅰ(子音と母音)	◆2		講義	前	1・2・3年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英語音声学Ⅱ(発話実践)	◆2		講義	後	1・2・3年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英米文学の流れ	◆2		講義	前	1・2・3年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英米小説と女性	◆2		講義	後	1・2・3年	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	異文化コミュニケーション	◆2		講義	後	1・2・3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	比較文化論	◆2		講義	前	2・3・4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	卒業研究ゼミナール	2		演習	通	3年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	卒業研究	4		演習	通	4年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〔「卒業研究」の履修について〕

註：「卒業研究」を履修するには、原則として、3年次終了時に修得単位数が84単位以上であること。

〔資格の履修について〕

註1：小学校教諭一種免許状取得を希望する者は必修に加えて、単位数欄にある■印の科目を全て履修しなければならない。

註2：特別支援学校教諭一種免許状取得を希望する者は必修に加えて、単位数欄にある■印と★印の科目を全て履修しなければならない。

註3：幼稚園教諭一種免許状取得を希望する者は必修に加えて、単位数欄にある■印と●印の科目を全て履修しなければならない。

註4：中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)取得を希望する者は必修に加えて、単位数欄にある■印と◆印の科目を全て履修しなければならない